

## 社会教育施設の利用状況

	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			備考
	入館者数	企画展数	講座・講習等	入館者数	企画展数	講座・講習等	入館者数	企画展数	講座・講習等	入館者数	企画展数	講座・講習等	入館者数	企画展数	講座・講習等	
郷土博物館	41,717	5	9	42,062	8	5	38,429	9	5	38,409	9	5	34,768	9	6	
館の活性化のために実施していること	<p>〈対来館者〉七夕飾りや月見飾りなどの日本の年中行事を再現展示して、季節のメリハリをつけている。また、親子博物館教室などの体験型事業を実施している。さらに、展示説明員や里山ボランティア、古文書研究会等、市民との協働をつうじて、多くの市民の参加による博物館活動を展開している。</p> <p>〈内部管理〉感慨での研修等により、各学芸員の専門外の知識・技術の習得に努めている。</p>															
課題・問題点	<p>〈対来館者〉入館者が減少傾向にある中で、いかに魅力ある展示等の博物館活動ができるか、また企画展のテーマにマンネリ感がでてきている現状をどう打開できるかが課題である。一方、学芸員個人のパーソナルな部分での信頼関係が重要な市民との交流の中で、安易な異動や就業年限による離職は、活発な博物館活動を停滞させる一因でもある。</p> <p>〈内部管理〉築20年以上が経過し、老朽化、狭隘により、活性化が難しい面もある。</p>															
目標とする館のあり方	<p>郷土の歴史と文化を扱う唯一の行政機関として、常に「成長する博物館をめざして」をテーマに取り組んでいるが、なかなか調査・研究の成果が土台として蓄積されにくい。これからは、これらの蓄積をさらに進め、多様な市民の求めに簡単に応じられるような、親しみのある垣根の低い博物館を、より多くの市民とともに作り上げていく必要がある。</p>															
	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		備考					
	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数	入館者数	貸出冊数						
図書館	373,419	536,372	381,302	516,949	367,210	491,407	367,401	469,744	291,087	459,019						
館の活性化のために実施していること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ボランティアの育成に取り組み、普及活動・資料整理に市民の知識や技能・経験を生かされ、図書館の活性化につながっている。</li> <li>・「図書館に対する私の意見・提案について」を図書館運営に活用している。</li> </ul>															
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館サービスを充実するため相談や資料案内サービス質的向上を図るとともに、少子高齢化問題など社会的な動向を見据えて市民サービスへの対応が求められている。</li> </ul>															
目標とする館のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館は市民のために資料や情報の提供等直接的な援助を行う機関として、市民の需要を把握するよう努力するとともに、それに応じた地域の事情に即した運営に努める。</li> </ul>															

## 社会教育施設の利用状況

	平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			備考
	貸切利用者数	個人利用者数	1日平均利用者数	貸切利用者数	個人利用者数	1日平均利用者数	貸切利用者数	個人利用者数	1日平均利用者数	貸切利用者数	個人利用者数	1日平均利用者数	貸切利用者数	個人利用者数	1日平均利用者数	
スポーツセンター	114,796	60,310	558	119,953	58,496	568	131,340	59,920	613	115,152	60,332	561	114,584	61,136	556	
館の活性化のために実施していること	市民が年齢や体力に合わせて、いつでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができるよう、設備を整備するとともに、指導者を育成したり、体育協会や体育指導委員との連携により、市民が参加できる事業を実施する。															
課題・問題点	市民の誰もが各自の体力や年齢に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる安全で快適な施設の維持管理が必要であるが、各施設とも老朽化が進み計画的な整備を要する。															
目標とする館のあり方	市民が生涯を通じて、各自の年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動が実践できるよう、安全で快適なスポーツ環境を維持している。															
	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		備考					
	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率	利用者数	稼働率						
ゆとりぎ							291,625	38.34			260,142	42.21				
館の活性化のために実施していること	ゆとりぎでの事業の多くを「市民協働」のスタイルを取り入れ、また、市民が参画することで意見が寄せられやすい雰囲気をつくり、より市民の目線に合った施設となるようにしている。															
課題・問題点	施設利用率の向上。夜間の創作室の利用など。															
目標とする館のあり方	来館される市民一人一人が、来てよかったと感じられる施設であること。多くの市民の生涯学習を支援する施設であること。															